保護者の皆様　　平成３０年７月２０日

学校だより 北　陵

川西市立北陵小学校
校 長　齋 木 久 雄

盛夏の候、保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。皆様方のお陰を持ちまして、本日、無事に平成３０年度１学期の終業式を終えることができました。

いよいよ明日から３９日間の長い夏休みがスタートしますが、子ども達にとって有意義な夏休みになることを願っています。

以下に、７月１０日の朝会と本日の終業式での校長講話の概略を紹介します。

＜朝会＞（前半省略）

今日は皆さんに、「結果だけを見ないで、お互いの努力を認め合おう」という話をします。

皆さんは今、プールで水泳の授業をしていますが、例えば、２０ｍ泳げたＡさんと６ｍしか泳げなかったＢさんとでは、結果だけを見ると当然２０ｍを泳げたＡさんの方が凄い・良く頑張ったと思うかも知れません。しかし、こんな場合はどうでしょうか？

２０ｍを泳いだＡさんは、本当はもっと長い距離を泳ぐ力があるのにもかかわらず、途中でサボって２０ｍで泳ぐのを止めました。そして、６ｍしか泳げなかったＢさんは、水泳の授業が始まった頃は、顔を水につける事も出来ませんでしたが、毎日一生懸命に努力を積み重ねて、少しずつ泳げるようになり、今回、初めて６ｍが泳げるようになりました。どうですか皆さん、確かに泳いだ距離はＢさんよりもＡさんの方が長いですが、良く頑張ったのはＡさんよりもＢさんの方ですよね！

先生は皆さんに、結果だけで判断して、泳げる人が泳げない人を馬鹿にするのではなく、２０ｍ泳げる人は２１ｍを目指して、６ｍの人は７ｍを目指して共に頑張り、お互いの努力を認め合えるような集団（人間関係）になって欲しいと願っています。

今日は、水泳を例にして「結果だけを見ないで、お互いの努力を認め合おう」という話をしましたが、大切なのは、水泳だけではありません。

人間は機械で出来たロボットではないので、体の大きさや性格等、一人一人がみんな違います。そして、誰もが長所と短所、得意な分野と苦手な分野を持っていて、それを個性と言います。

この北陵小学校の皆さん一人一人が、お互いに相手の個性を認め合い、支え合い、励まし合って、共に成長してくれることを願っています。

＜終業式＞

まず最初に、トイレの使い方（スリッパ）についてお話をします。（途中省略）

皆さんの中には、ディズニーランドや USJ に行った事がある人も多いと思いますが、それらの遊園地では、ゴミが落ちていません。それはなぜだと思いますか・・・・・？

それは、常にゴミが落ちていない綺麗な状態を保っているからなのです。もし、誰かがゴミを落としても拾わずにそのままにしておくと、次にゴミを落とした人は、前に誰かが落としても拾わずにそのままにしているので、自分も拾わなくてもいいや！と思ってしまい、どんどんゴミが溜まって行きます。しかし、誰かが落としたゴミをそのままにしないで、落とした本人や係の人がすぐに拾って常に綺麗な状態を保っていると、一人一人がゴミを落とさないように注意して行動するようになり、いつまでも綺麗な状態が続きます。

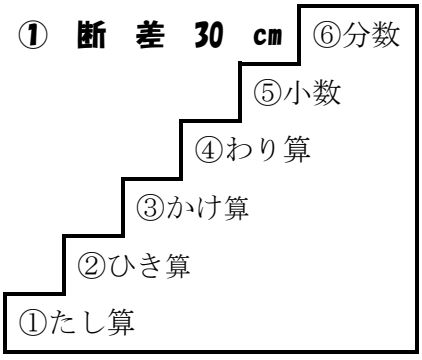
皆さんは、ゴミが落ちていない綺麗な遊園地とゴミだらけの遊園地のどちらがいいですか？当然綺麗な方がいいですよね！

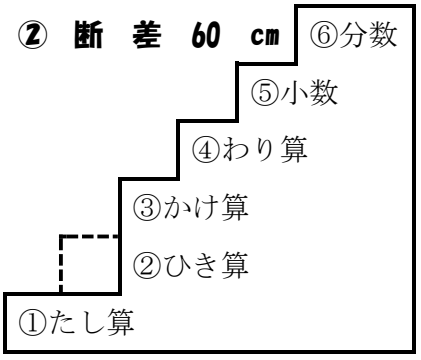
学校のトイレも遊園地と同じです。皆さん一人一人の心がけで、みんなが使いやすい綺麗なトイレにしていきましょう。

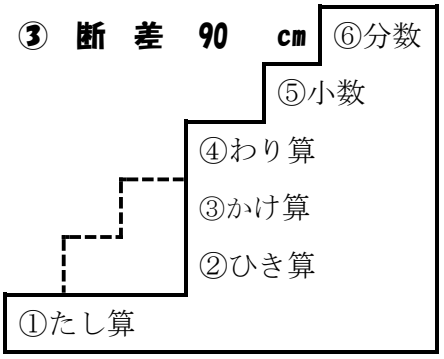
次に今日は、１学期の締め括りにあたり、皆さんに「一歩一歩 確実に進む事の大切さ」についてお話をします。

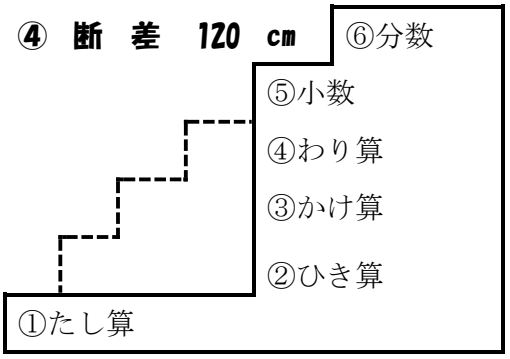
例えば、１年生に３年生の算数の問題を出しても、答えられませんね。また、３年生に６年生の問題を出しても同じだと思います。

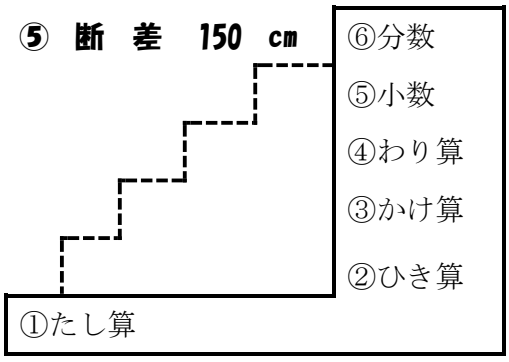
算数は、たし算・ひき算から始まって、かけ算・わり算、小数・分数と進んで行きますが、この階段の図を見て下さい。（裏面に続く）











算数は、①の図の様に階段になっていて、いくら高学年の教科書でも、いきなり難しくなることは絶対にありません。だから、毎日、毎時間、一歩ずつ一段ずつ、きちんと上っていけば、必ず高い所までいけるようになります。しかし、先生の話をしっかり聞かずにまじめに授業を受けなかったら、上れるはずがありません。でも、まじめに授業を受けていてもよくわからないという事もあると思います。その時に、よくわからなかったけれど「まあ いいや」とあきらめてしまう人がいますが、これが問題です。

まじめに授業を受けなかった人や、わからなかったのに「まあ いいや」とあきらめてしまった人は、②のようにこの階段が一つ消えます。

次も「まあ いいや」となると、また一つ消えて③の図のようになり、その次も「まあ いいや」となると④の図のようになり、そのまた次も「まあ いいや」となると⑤の図のようになって、どんどん階段が消えていって上れなくなってしまいます。

そして、こうなった人は、「あ～算数は難しい！」「算数は苦手だ！」と言います。どうですか皆さん、おかしいと思いませんか？

算数に限らず勉強は、よくわからなかったら先生に聞きに行ったり友達に教えてもらったりして、わかるまで根気強く努力する事が大切です。

この後、教室に戻って担任の先生から手渡される「あゆみ」をしっかりと確認して、今学期の自分を振り返ってみて下さい。そして、今、「自分は勉強が苦手だ」と思っている人は、「まあ いいや」「まあ いいや」と階段を消してしまっていなかったか、自分をしっかりと見つめ直して下さい。もしも、消してしまいそうな階段があったら、この夏休みの期間にしっかりと復習をして、もう一度、一歩一歩確実に階段を上っていって欲しいと思います。

最後になりましたが、明日から皆さんが待ちに待った夏休みが始まります。今回は、今までの夏休みよりも３日間短くなりましたが、それでも３９日間というとても長い期間です。

そして、この夏休みの期間に皆さんにぜひ守って欲しいことがあります。それは、安全に生活して欲しいということです。次の３つを守って下さい。

①絶対に危険な遊びをしたり、危険な場所に行ったりしないで下さい。

②知らない人に声を掛けられても、絶対について行ったりしないで「いか・の・お・す・し」（知らない人について行かない・車にのらない・危険を感じたら大声を出す・すぐに逃げる・何があったかを知らせる）を守って下さい。

③特に気になるのが交通事故です。道路を横断する時には、たとえ信号機のある交差点で信号が青になっても、すぐに飛び出すのではなく、必ず右・左・右の安全を確かめてから渡るようにして下さい。また、自転車の乗り方についても十分に気をつけて下さい。

以上の３つを守って、８月２９日の二学期の始業式に、皆さん全員が元気に登校してくれることを期待しています。

＜お知らせとお願い＞

小学校では、今年度から道徳が「特別の教科道徳」になりました。つきましては、「あゆみ」に道徳の欄を新たに設けて、道徳の授業におけるお子様の顕著な場面等について記載していますのでご確認下さい。

また、夏休みの期間は、基本的には学校教育から離れて、家族の一員として、家族の絆を深めることを最大の目標にしています。そして、家族からの温かい励ましや支援が、子どもの豊かな心を育みます。この夏休みの期間に、次のような配慮をして頂ければと思います。

〇学習については、決まった時間になれば机に向かう、学習習慣の確立を目指して下さい。そして、懇談での担任からの話や「あゆみ」の所見等を参考にして、苦手な教科の克服を図って下さい。大切なことは、諦めさせるような言動を親がしないことです。

〇家庭でのお手伝いは、親からきちんと「〇〇をしてくれるとありがたい」と伝えることです。そして、子の言い分も聞いて下さい。

この夏休み、いつもと少し違った視点でお子様の長所を発見する３９日間として頂ければ幸いです。

「子は、親の言う通りにはならないが、
親のする通りにはなる。」

また、夏休みには、納涼祭等の地域の行事があります。ぜひご家族揃って参加して、地域との絆も深めて頂きますようお願い致します。